

高体連全道大会



- 大会名 令和5年度第76回北海道高等学校サッカー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会・令和5年度第12回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会

- 日にち 2023年6月15・16・20・21日

5R ～ 一歩一歩着実に ～

- 参加者 秋山 心音（2級審判員）
北野 詩織・北空知地区ユース審判員（4級審判員）

※4級審判員2名は、所属地区の強い推薦により参加しました。

■ 担当審判員のコメント

秋山 心音(2級審判員)

1年前に初めて参加させていただいた大きな大会が、高体連の全道大会でした。終始不安な気持ちで副審や第4審判を務めていたことを今でも鮮明に覚えています。そんな個人的に思い入れのある大会で主審を務めさせていただけたこと、またそこに至るまでにご指導頂き、支えてくださった全ての方々に心より感謝致します。

そして今回の主審経験を通じて、自分の実力不足、知識不足を再認識いたしました。この悔しさをバネに今後の審判活動に繋げていきたいです。今回は悔しい気持ちで試合を終えてしまいましたが、**どんな時でも大好きなサッカーに関わり続けることで多くの方々と出会い、様々なサッカー観を知り学ぶことができます。**これまでもこれからも自分の審判活動に対する不安やプレッシャーは絶えませんが、それと同時に今後の審判人生をとっても楽しみにも感じています。最後になりますが、改めて貴重な機会設けてくださったことに感謝申し上げます。この度はありがとうございました。

北野 詩織(4級審判員)

今大会を終えて、今まで公式大会での経験が少ない中での今大会にて、審判員として女子の試合の副審を務めさせていただきました。経験が少ない中でしたので、もちろん不安や緊張等もありましたが、ほかの審判員に支えられ、無事に試合を終えることが出来ました。今大会を通して、自分自身にとっても大きな経験になりました。そのうえで自分の実力不足も実感しました。**多くの方々に自分のレフェリングを見ていただき、自分自身のいい所、直すべきところについてアドバイスをいただくことが出来ました。**今回の経験を通して、自分に足りないところは今後の大会に向けて、改善していきながら審判をしていきたいと思いました。

北空知地区ユース審判員(4級審判員)

今回、初めて大きな大会に参加することは審判経験の少ない私にとって大きな挑戦でした。

参加させていただいた三日間で特に感じたこと・身についたことが二つあります。一つ目は試合終わりの1日の振り返りです。そこでは**色々な方の意見や考えを共有し、自分にとってとても有意義な時間になりました。様々な知識を身に付け、さらにレベルアップできたと思います。**二つ目は全日程でやらせていただいた副審です。三日間で沢山の経験を積むことができました。審判を始めた頃から最も苦手としていたオフサイドの判定も、様々なチームの特徴に応じながら自信を持って判定できるようになっていきました。

今回の経験を活かしこれからの審判活動に役立てていきます。大会運営者、チーム関係者、審判員の皆様本当にありがとうございました。



インターハイ

- 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会 女子サッカー競技大会
- 日にち 2023年7月26・27・29・30日
- 場 所 帯広の森陸上競技場、帯広の森球技場、音更町サッカー場
- 参加者 長浜 杏名・平木 柚香・大村 美嗣（2級審判員）
林 緑・（3級審判員）

○大村 美嗣



1 回戦	大阪学芸（大阪）	—	藤枝順心（静岡）	副審
2 回戦	福井工大福井（福井）	—	鹿島学園（茨城）	副審
準決勝	福井工大福井（福井）	—	聖和学園（宮城）	副審
決勝	藤枝順心（静岡）	—	聖和学園（宮城）	四審

自己分析 今回の大会では、マネジメントという部分が大きい課題となりました。今までは正直、マネジメントと聞くと主に主審を思い浮かべることが多かったのですが、副審、第四の審判も競技規則に記載してある事項以外にも審判チームとして配慮しなければいけないことがあると改めて強く感じました。

インストラクターから （大岩真由美INS・渡辺典子INS）：審判チームとして連携が取れていたか、アイコンタクトやどのような情報を試合中に交換したかを振り返りました。

感想 私は準決勝までの3試合を副審、決勝戦では第四の審判を担当させて頂きました。四試合の中で特に難しさを感じたのは決勝戦で担当した第四の審判です。言葉や意味では何をするべきか理解できていても、上手く行動や言葉に出来ない事があり悔しい思いをしました。
地区の大会では経験できないような、緊迫した雰囲気の中選手と同じピッチに立つのはとても緊張しました。また、北海道開催ということで北海道代表として、一級審判の方と活動しているという責任感の重さを感じながら大会期間中の時間を過ごしました。そして、高校総体の北海道開催という貴重な場で、稼働する機会を頂き本当にありがとうございました。今回の大会で室蘭開催では主審としてピッチに立ちたいと強く思いました。開催地の一級審判員として北海道を代表できるように頑張りたいです。



○ 長浜 杏名

1 回戦	日ノ本学園（兵庫）	—	福井工大福井（福井）	副審
2 回戦	聖力ピタニオ（愛知）	—	星槎国際湘南（神奈川）	副審
準決勝	福井工大福井（福井）	—	聖和学園（宮城）	四審

自己分析 どの試合も北海道ではなかなか経験することのない暑さの中での試合でした。特に初戦はその暑さに順応することができず後半の最後の数分はとても苦しい時間帯でした。負傷者や問題が起こった場面も冷静に対処することができました。

感想 今まで何度かインターハイに参加してきましたが、地元北海道での開催ということでその知らせを聞いた時からこの日をとても心待ちにしていました。今回担当するのは副審と第4の審判員だったので、主審のサポートがしっかりできるよう大会前から準備をしてきました。大会期間中は上記でも触れた通りとにかく暑く辛い時間もありましたが、選手たちはそのような状況下でも素晴らしい熱戦を繰り広げてくれました。そのようなプレーを間近で見ることができ、審判員として一緒に試合を作り上げることができる喜びを再認識することができました。また、今回参加された女子1級の方々は初めてお会いする方もいましたがこれまでに会ったことのある方も多くいて過度に緊張することなくリラックスして大会に臨めました。

来年の室蘭でのインターハイに万全の状態で臨めるようまた良い準備を心がけて1年間を過ごしたいと思います。

○ 平木 柚香

1 回戦	専大北上（岩手）	—	秀岳館（熊本）	副審
2 回戦	藤枝順心（静岡）	—	東海大福岡（福岡）	四審

自己分析 共通していたことは、ベンチコントロールでした。全国大会のため、監督やコーチも熱が入り、審判に対して異議を申し出る発言が何度か見られました。2試合担当しA1と第四審判を務めたので、ベンチコントロールのため監督・コーチへの声かけを行いました。効果的な声かけが出来なかったなと思いました。今後は、ベンチを含めて試合をコントロールしていきたいと思いました。

インストラクターから 2 回戦（大岩真由美INS）：女子審判員のベンチコントロールが課題であり、タイミングについてアドバイスをいただきました。

感想 北海道の試合では体験できないような試合を担当することができ、初めての事例もあったことから、今後今回のような事例も起こりうるのだと予測しながら動けるのではないかと思います。また、自分の課題として、ベンチコントロールや気づきの甘さであると思ったので、今後の活動で改善していきたいです。



1 回戦	道文教大附属（北海道）－ 東海大福岡（福岡）	副審
2 回戦	専大北上（岩手）－ 聖和学園（宮城）	四審

自己分析

副審では、試合前の打ち合わせであった、スローインの足、ファウルサポートは120%の自信のみ、オフサイド確定、ゴールインの判定、こちらを意識しながら丁寧さを心掛けました。オフサイドラインをしっかりとキープし、タッチジャッチの判定も集中して見ることができました。

四審では、交代、ベンチコントロール、負傷者対応、アディショナル提示。必須役割を当たり前になさないといけないところ、ボードが鏡字になってしまい迷惑をかけてしまいました。ベンチコントロールの部分では、監督からの指示や声掛けはポジティブなものでした。多少のアピールはありましたが、許容範囲だと思いました。

インストラクターから

1 回戦（村山尚哉 INS）：選手への声掛け（コミュニケーション）と、注意（次はやらせたくない）の違いについて、次の場面で効果があったかまで見る。交代の見落とし防止のため、副審もサポートすること。

2 回戦（大岩真由美 INS）：A 1 の姿勢がベンチコントロールになる。全てにおいて模範解答のような完璧な立ち振る舞いでした。四審としては、経験値を上げることでクリアできる。堂々と 4 人でゲームコントロールしていた。

感想

まずはこのような大舞台に立たせていただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。十勝でママさんレフェリーとして帯同審判という環境しか知らなかった私にとって刺激的で貴重な経験となりました。この出会いを次に繋げたい、挑戦したい、と強く思いました。本大会でのすべての人の本気に触れた時間を今後に生かしていきます。



インターハイは、女子のみ、2024・2025年度も北海道（室蘭）で開催されます

若手女子審判員がポッドキャストに出演します！

- 番組名
- 配信日時
- 出演者

AIR-G' Podcast 「Rune の Heat Up Hokkaido! supported by 北海道川崎建機」

2023年8月20日（日）0:00

秋山 心音・土屋 花（2級審判員）



Heat Up Hokkaido! と検索！

今回は第6回。過去5回の北海道サッカー・フットサルに関わる方々のお話も聞くことができます！